

試合番号 : 241	試合会場 : 墨田区総合体育館	観客数 : 700			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:28	試合時間 : 01:28			
主審 : 原 啓之	副審 : 中西 幸治				
FC東京	通算 8勝 20敗 ポイント: 29	19 第1セット 25	JTサンダーズ広島	通算 13勝 16敗 ポイント: 41	
監督コメント 今日ホームゲームでFC東京のサポーターの皆様の前で勝利をプレゼントしたかったが、残念ながら敗戦となりました。JT広島は壁のブロックやディフェンスに終始苦しめられました。また、JT広島の選手の勝利に対する気迫には素晴らしいものがありました。今日、しっかり修正し、明日の勝利を目指します。本日も応援ありがとうございました。	0	23 第2セット 25	3	監督コメント 今日の試合はチーム全員で勝ち取った勝利だと思います。途中から出場した選手も自分の役割を果たしてくれたと思います。明日も勝利するために、今のJT広島に出来ることはチーム一丸で戦うことだと思います。会場や配信で試合を観戦し、ご声援頂いた皆様、ありがとうございます。明日も全力で戦うことを約束します。	
		16 第3セット 25			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート ホームゲームとなるFC東京と、現在6位のJTサンダーズ広島の戦い。1セット目、序盤から中盤にかけてJT広島がエドガーの攻撃などで僅かなリードを奪い有利に試合を運んだ。それに対し、FC東京は、古賀を中心に粘り強く拾い、手原がブレモビッチや栗山、迫田らの攻撃陣を操り、追撃する。しかし、JT広島はその後も手を緩めず、最後は陳のアタックがコートに突き刺さり、このセットを手に入れた。2セット目、序盤から1点を追う白熱したゲームとなった。中盤、FC東京は、迫田のサービスエースやブレモビッチの攻撃で点を重ねる。JT広島は、小野寺が要所でブロック、アタックを決めて活躍し、追いつけるFC東京を振り切って、セットを連取する。3セット目、あとのないFC東京は、平田、井上らミドルブロッカーの攻撃を多用し、JT広島に迫る。対するJT広島は、サーブで攻め、山本や陳のサービスエースも決まり、常に優位に立つ。中盤にかけてもJT広島は、金子がエドガーを中心に攻撃陣を操り、リードを奪う。最後は八子のアタックが決まり、JT広島が勝利した。					

試合番号 : 242	試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)	観客数 : 1,100			
開始時間 : 15:00	終了時間 : 17:05	試合時間 : 02:05			
主審 : 村中 伸	副審 : 中山 健				
ウルフドッグス名古屋	通算 20勝 7敗 ポイント: 60	25 第1セット 19	東レアローズ	通算 13勝 13敗 ポイント: 36	
監督コメント 1カ月ぶりにここ豊田合成記念体育館エントリオで試合を行うことが出来て、本当に嬉しく思います。相手のサーブが強かった為に非常に厳しい試合となりました。今日の試合で出たチームの課題を明確にして、気持ち新たに明日の試合に備えたいと思います。エントリオへ足を運んでくださった皆様、メディアやインターネットを通じて応援して下さいました。またホームページでお会いできる事を心から望んでおります。Best Day Ever!!	3	25 第2セット 19	1	監督コメント 今日の試合は、WD名古屋のディフェンスに苦しみました。クレク選手に厚くブロックがきている中で、なかなか日本人選手の決定率を上げていけなかったのが、敗因だと思います。今日できなかった事を修正し、明日に備えたいと思います。本日はたたくさんの応援ありがとうございました。	
		24 第3セット 26			
		25 第4セット 17			
		第5セット			
要約レポート 第1セット、序盤東レが星野のブロックポイントやサービスエースなどで3点リードする。東レがリードを保って後半にはいるがWD名古屋は16-19から相手ミスで同点となると、そこからクレクのアタックとブロックポイント、高梨・山田のアタックなどで一気に6連続得点セットを奪った。第2セット、WD名古屋が第1セット終盤の勢いのまま近のブロックやクレク、山田のアタックなどで得点し3点をリードし中盤を迎える。東レはバダルのアタックとブロック、鈴木と高橋に代わって入った李のセンターからの攻撃などでリズムをつくり、WD名古屋はクレクが要所でアタックを決めお互いに自チームのリズムに持ち込もうと競った展開となった。終盤WD名古屋がブロックと速攻でリズムを引き寄せると最後はクレクがバックから強打を決めWD名古屋がセットを連取した。第3セット、スタートはお互いに1点を奪い合い試合が進む。2連続得点する場面もお互いに有るが、点差を広げる決定打が無いまま終盤を迎える。デュースとなって最初の東レのセットポイントで、藤井に代わって入った高橋がクレクの攻撃をブロックし、東レがセットを取り返した。第4セット、途中6点差をつけられてしまった東レは5-10から富松がアタックを決めサーブに下がるとサービスエースも決め連続得点して3点差まで詰めるが、以降点差を追い上げることが出来ず終盤に入る。WD名古屋はクレクの2本連続のサービスエースを含め3本のサービスエースなどで点差を広げマッチポイントから山田がアタックを決めてセットを取り勝利した。					

試合番号 : 243	試合会場 : 日本製鉄堺体育館	観客数 : 527			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:24	試合時間 : 01:24			
主審 : 服部 篤史	副審 : 林 淳一				
堺ブレイザーズ	通算 15勝 14敗 ポイント: 43	25 第1セット 27	サントリーサンバーズ	通算 25勝 2敗 ポイント: 71	
監督コメント 今日、相手のサントリーにとっては良い試合となりました。ムセルスキーのカウンターは非常に良かった。明日は、もっとスパイク、そしてブロックを向上させて臨みたい。より良いバレーを展開できるよう、明日も頑張ります。本日も応援ありがとうございました。明日もよろしくお祈りします。	0	21 第2セット 25	3	監督コメント 今日の試合は、想定していたメンバーと違う部分もあり、対応するのに時間が掛かったと思います。サントリーサンバーズの強みは、試合の中で対応し、修正することが出来る能力が非常に高いところだと思います。2セット目以降はブロック、ディフェンスがうまく機能してましたし、途中からコートに入った選手も非常に良い仕事をしてくれました。V・レギュラーラウンドも残り少なくなってきましたが、1戦1戦、サンバーズらしく戦っていききたいと思います。本日も会場に足を運んで頂いたファンの皆様、ありがとうございます。明日もサンバーズらしく戦っていきますので引き続きご声援よろしくお祈りいたします。	
		12 第3セット 25			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート 現在5位の堺ブレイザーズが16連勝中で首位を独走するサントリーサンバーズをホームに迎えて挑む大阪ダービー戦。第1セット、堺は松本が速攻で得点を量産し、終盤には開田の2連続サービスエースでリードするも、サントリーがムセルスキーの高さのあるスパイクで逆転する。堺も意地を見せデュースに持ち込むが、最後はサントリーの小野がブロックを決め、先取する。第2セット、サントリーは藤中のスパイク、塩田のサービスエースなどで序盤から点差を広げる。堺は宮原がスパイクやサービスエースを決め、ムードを盛り上げるが、終盤になってもサントリーは柳田がスパイクをしっかり決め、ペースを乱すことなく、セットを連取する。第3セット、セットを取り返した堺はセッター開田が持前前のトスワークを生かし、攻撃を仕掛けるが、サントリーは大宅、鶴田の粘りあるレシーブからスパイク陣が得点を量産し、徐々に点差を広げる。またサントリーは途中交代で入った秦、栗山が気迫あるスパイクを決め、完全に主導権を掴み、危なげなくこのセットも取り、17連勝を挙げた。					

試合番号 : 244	試合会場 : パナソニックアリーナ	観客数 : 1,180			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:10	試合時間 : 01:10			
主審 : 戸川 太輔	副審 : 千代延 靖夫				
パナソニックパンサーズ	通算 23勝 6敗 ポイント: 67	25 第1セット 16	大分三好ヴァイセアドラー	通算 2勝 27敗 ポイント: 9	
監督コメント 今日ほとんど完璧な試合でした。相手のミスが多かったです。明日は今日のようにはいかないとわかっているため、明日も勝つためしっかり準備します。応援よろしくお願いいたします。	3	25 第2セット 16	0	監督コメント 試合を通して何も残すことができませんでした。すべてのプレーにおいて、パナソニックが上回っていました。明日のゲームに向けて様々な修正、切り替えを行っていかないとはいけません。明日のゲームでは熱さが伝わるプレーを出していけるよう頑張ります。本日は応援ありがとうございました。	
		25 第3セット 13			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート パナソニックパンサーズと大分三好ヴァイセアドラーの一戦はストレートでパナソニックが勝利した。第1セット、パナソニックは多彩なサービスで大分三好を攻め、試合のリズムをつかんだ。大分三好は、ストックトンがアタックで反撃をするがパナソニックはクビアクの好レシーブが飛び出し勢いを増し、山内、クビアクのアタックが効果的に決まりセットを先取した。第2セットもパナソニックの勢いはそのままに、久原がブロック、アタックと活躍、大分三好のストックトン、古賀の反撃もパナソニックの勢いを止めることはできなかった。第3セット、パナソニックは山内、クビアク、小宮のブロックが決まり大分三好の攻撃陣にプレッシャーをかけた。対する大分三好は反撃するも及ばず、最後はクビアクのサービスエースでパナソニックが勝利を収めた。					

試合番号 : 245		試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良 (奈良県立橿原公苑第1体育館)				観客数 : 696			
開始時間 : 14:05		終了時間 : 15:27		試合時間 : 01:22		主審 : 城 智人	副審 : 澤 達大		
ジェイテクトSTINGS 通算 18勝 9敗 ポイント : 51		3		25 第1セット 20 25 第2セット 21 25 第3セット 21 第4セット 第5セット		0		VC長野トライデンツ 通算 3勝 26敗 ポイント : 13	
監督コメント 先週の敗戦から選手たちは気持ちを切り替え、今日の試合では良い雰囲気の中で集中力を高く持ち臨んでくれました。明日、もっといいプレーをお見せできるように今から準備して参ります。本日もたくさんの方の応援ありがとうございました。明日も引き続きよろしくお祈りします。						監督コメント 第1セット序盤に西田選手のサーブで連続失点してしまったことで、ゲーム運びが引き気味になってしまったことが残念です。明日はもっと自分たちが攻めていけるよう修正し、準備したいと思います。本日も熱い応援ありがとうございました。			
要約レポート V・ファイナルステージ進出のためには一つも負けられないジェイテクトSTINGSと、VC長野トライデンツとの一戦。第1セット、ジェイテクトは西田のサービスエースで連続得点し徐々にリードを広げる。終盤、VC長野は戸善の攻撃で1点差まで詰め寄るが、ジェイテクトは福山の速攻や久保山のブロックで突き放し、西田がサービスエース、バックアタックを決めセットを先取。第2セット、ジェイテクトは第1セットの勢いそのままリードを広げる。VC長野はリヴァンのアタックやサーブで食い下がるが、ジェイテクトは伏見の速攻や西田の強烈なスパイクでセットを連取した。第3セット、ジェイテクトが序盤からリードを広げる。中盤、VC長野は戸善のブロックポイントなどにより逆転し、リードしてセカンドテクニカルタイムアウトを迎えるが、この試合初めてリードを許したジェイテクトは、ボールを西田に集めて再逆転し、最後は、交代が入った宮浦の攻撃で勝利した。									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	副審 :
通算 -勝 -敗 ポイント : -				第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	副審 :
通算 -勝 -敗 ポイント : -				第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	副審 :
通算 -勝 -敗 ポイント : -				第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット		監督コメント	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							